



2021年7月30日

各位

会社名 株式会社ハイパー
 代表者名 取締役社長 望月 真貴子
 (コード番号: 3054 東証第一部)
 問合せ先 取締役 田邊 浩明
 (TEL: 03-6855-8180)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年2月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2021年12月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	11,500	190	190	130	14円45銭
今回修正予想(B)	10,700	130	120	110	11円21銭
増減額(B-A)	△800	△60	△70	△20	—
増減率(%)	△7.0	△31.6	△36.8	△15.4	—
ご参考: 前期第2四半期実績 (2020年12月期第2四半期)	11,292	243	237	161	18円33銭

(2) 2021年12月期 連結業績予想数値の修正 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	24,000	420	425	280	31円13銭
今回修正予想(B)	21,000	150	140	130	13円25銭
増減額(B-A)	△3,000	△270	△285	△150	—
増減率(%)	△12.5	△64.3	△67.1	△53.6	—
ご参考: 前期実績 (2020年12月期)	21,351	330	331	222	25円03銭

(3) 修正の理由

今期の当社グループの状況につきましては、アスクルエージェント事業においては、当初の予想通り順調に推移しております。

しかし、ITサービス事業におきましては、昨年前半まで続いたWindows10への切り替え需要の反動減や、コロナ禍を発端に拡大したテレワーク需要が一巡したことにより、法人向けパソコン市場の需要が減少する中、半導体不足によるパソコン本体等ハードウェアの供給不足が当初の想定以上に広範囲かつ長期化していることから、売上高が減少いたしました。

売上高の減少を補うべく新規顧客の開拓、ニーズが高まっているセキュリティ及びDX関連需要の取り込み、ソフトウェア販売の拡大などに注力してまいりましたが、パソコン販売等の減少分を補うに至りませんでした。

一方、経費については、将来の業容拡大及び戦略的投資の視点から、当初の予定通り執行しております。

以上の結果、2021年12月期第2四半期の連結業績予想は、売上高・利益とも当初予想を下回る見込みとなりました。

また、2021年度下期につきましては、ITサービス事業において、半導体不足が長期化すると見込まれ、今後も商品の確保が困難な状況が想定されることから、その影響を最小化すべく、上期に引き続き、新規顧客の開拓、セキュリティ及びDX関連需要の取り込み、ソフトウェア販売の拡大などに注力してまいります。売上高については、厳しい状況が続くものと考えております。

一方、経費については、来期以降の持続的かつ安定的な成長並びに戦略的投資の視点から、今後に必要な拡大が見込まれるネットワークインフラ、セキュリティ、DX分野のエンジニアを中心とした人員の増強や育成に関する投資、デジタル化や自動化などのシステム投資を執行する予定であることから、2021年12月期通期連結業績予想は、売上高・利益とも当初予想を下回ると見込んでおります。

以上の理由により、業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. その他

配当予想について

当期の配当金につきましては、現時点で当初予想からの変更はございません。

今後の動向を見定め、変更が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上